Annual Report 2010

2010.4-2011.3

CancerNet Japan

キャンサーネットジャパンにできること

****
NPO 法人キャンサーネットジャパン
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-6-8 中央自動車ビル 7F
電話：03-5840-6072　ファックス：03-5840-6073
****
Homepage：http://www.cancernet.jp/
BLOG：http://blogs.yahoo.co.jp/cancernet_japan
twitter：https://twitter.com/CancerNetJapan
YouTube：http://www.youtube.com/CNJTube
UST：http://www.ustream.tv/channel/cancernetjapan
****

【CNJ の沿革 : Our History】

1991 年６月、南雲 吉則（現顧問）、吉田 和彦（現顧問）が、米国国立衛生研究所発行の乳がん患者向けパンフレットを翻訳自費出版し無料配布を開始したのが当団体の始まりです。当時は、インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンという言葉すら一般的でなかった日本において、がん（乳がん）患者自らが、科学的根拠に基づく、正確な知識・情報を得られる書籍はなく、先駆的活動として注目されました。翌 1992 年には、それら 10 冊の冊子をまとめた書籍「あなたと乳がん」を出版し、全国に無償配布しました。その後、「乳がんの発見」（祥伝社刊）などの書籍を出版・販売開始しました。

それらの出版の収益を元に、米国国立がん研究所が提供する NCI PDQ 日本語訳のファックスでの提供（キャンサーファックス）、電話・ファックス・メイルでのボランティア医療者によるがん医療相談（セカンドオピニオンコール）、インターネット上における NCI PDQ の公開など新たな活動も開始しました。また、2000 年には、現在の主要事業の一つである患者・一般の方を対象とした「EBM セミナー」を開始しました。

2001 年８月には、東京都より NPO（特定非営利活動法人）の認証を取得し、翌 2002 年には私たちのホームページが日経インターネットアワードを受賞するに至りました。

その後、日本におけるがん医療環境の変化を鑑み、十分な情報がない中、科学的根拠に基づく正確な情報を発信する事から、今後は、増え続ける情報の中、科学的根拠に基づく正確な情報へ繋げることが私たちの使命・役割とし、2007 年 1 月よりミッション・ビジョンを新たにし、東京の御茶ノ水に事務局を開設、専属スタッフにより新生キャンサーネットジャパンとしての活動を開始しました。

1991	NIH 許可の元、乳がん患者向け冊子（10 冊）を翻訳・出版無償配布。 With the permission of the NIH, ten medical brochures for patients with breast cancer were translated into Japanese, and distributed without charge.
1992	10 冊の冊子をまとめ「あなたと乳がん」を出版し、全国に無償配布。 The ten brochures were consolidated into a book entitled “Breast Cancer and You,” and distributed throughout Japan without charge.
1994	「乳がんの発見」（祥伝社刊）を出版・販売。NCI キャンサーファックスを翻訳提供するサービスを開始（現在終了）。 A book entitled “Discovering Breast Cancer” was published and marketed by Shoden-sha. A translation service called the NCI Cancer Fax (National Cancer Institute Cancer Fax) was launched (the service was later terminated).
1995	キャンサーネットジャパン（CancerNet Japan）を設立。NCI PDQ の翻訳とウェブ上での公開（現在更新終了）。 Cancer Net Japan (CNJ) was formally established. Through a service called the NCI PDQ (National Cancer Institute Physician Data Query) information about cancer was translated into Japanese and posted on our website (the service was later terminated).
1996	電話・手紙・メール・ファックスでの「セカンドオピニオンコール」開設（現在終了）。 A program was introduced called “Second Opinion Call” that used media such as telephone calls, letters, e-mails, and faxes to provide information about second opinions (the service was later terminated).
1997	セカンドオピニオン外来の開設。 An outpatient program for providing second opinions was introduced.
2000	患者・一般向けのイベント「EBM セミナー」を開始。 CNJ began to offer “EBM Seminars” (Evidence Based Medicine Seminars) for both patients and healthy individuals.
2002	東京都より NPO 法人格を取得。キャンサーネットジャパンホームページが日経インターネットアワードを受賞。 CNJ obtained the status of Non Profit Organization from the Tokyo Metropolitan Government. The CNJ Homepage won the Nikkei Internet Award Prize.
2007	東京都文京区湯島（御茶ノ水）に事務局を開設。吉田 和彦（東京慈恵会医科大学附属青戸病院 副院長）が理事長に就任 。第 1 期乳がん体験者コーディネーター養成講座・がん情報ナビゲーター養成講座開講 。 CNJ established an administrative office at Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo. Kazuhiko Yoshida, M.D., Vice President of Aoto Hospital at the Tokyo Jikei University School of Medicine was appointed as the chairman of the board of directors. A Coordinator Training Course for Breast Cancer Survivors (for Breast Cancer Education Coordinators, BEC) as well as a training course for the Cancer Information Navigator (CIN) were started.
2009	新大阪に大阪事務局を開設。新理事長に岩瀬 哲（東京大学病院緩和ケア診療部 副部長）が就任。東京事務局を本郷に移転。 CNJ established an Osaka office at Shin-Osaka. Satoru Iwase, M.D., Vice Director of the Department of Palliative Medicine at Tokyo University Hospital took over as the new chairman of the board directors.We moed to new Office to Hongou area.
2010	事業規模拡大に伴い、NPO 法人キャンサーネットジャパンは、新オフィスに移転。 Because of the expand of business size, CNJ office moved to Yushima area.

【CNJ のミッションとビジョン：Our Mission & Vision】

わたしたちの使命（Our Mission）

わたしたちのミッション（使命）は、がん患者が本人の意思に基づき、がん治療に臨むことができるよう、患者擁護の立場から、科学的根拠に基づく、あらゆる情報発信を行うことです

Our Mission（わたしたちの使命）

The mission of CancerNet Japan, CNJ, is to adopt a patient-centered point of view and provide as much information about cancer based on scientific evidence, and by doing so we aim to ensure that cancer patients will have confidence to take the initiative when they make critical healthcare decisions.

わたしたちの夢（Our Vision &Dream）

わたしたちのビジョン（夢）は、がん体験者・家族・遺族、その支援者、医療者と共に日本のがん医療を変えがんになっても生きがいのある社会を実現することです

Our Vision &Dream（わたしたちの夢）

Our vision is to create a vibrant community where cancer patients can live fulfilling lives. We will endeavor to build a strong and innovative foundation for cancer care by collaborating with patients, families, survivors, supporters, and medical professionals in order to make a difference in the lives of cancer patients.

【わたしたちのメッセージ：Our Message】

Know (≠No) More Cancer

“No More Cancer”ではありません。”Know More Cancer”です※ 。
毎年 70 万人以上もの人ががんに罹患し、多くのがん体験者が生活する今
「がん撲滅」、「がん征圧」はしっくりきません。まずは、もっと、がんを、知ることからはじめませんか？
※正確には、Know More about Cancer.ですが、このメッセージではあえて Know More Cancer としています

We value the concept, “Know More About Cancer”, because the goal of “No More Cancer” is not realistic. Every year, more than 700,000 people are newly diagnosed as having cancer in Japan. It is not realistic, therefore, to aim for the “complete elimination “of cancer. Instead, we start with the goal of “getting more knowledge about cancer.”

【CNJ の組織概要：Organization Profile】

○理事・役員（6 名）
理事長：岩瀬 哲（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部 副部長）
理事：柳澤 昭浩（事務局長・事業戦略担当）
理事：川上 祥子（広報・教育事業担当）
理事：内田 絵子（NPO 法人ブーゲンビリア理事長）
理事：小西 敏郎（NTT 東日本関東病院 副院長）
監事：久保井 摂（福岡県弁護士会（九州合同法律事務所）弁護士）

○理事・顧問（2 名）
顧問：南雲 吉則（ナグモクリニック総院長）
顧問：吉田 和彦（東京慈恵会医科大学青戸病院 教授・副院長・診療部長）

○アドバイザリーボード（1 名）
代表：西條 長宏（近畿大学医学部腫瘍内科教授）

○アドバイザリーボードメンバー（16 名）
委員：青谷 恵利子（北里大学）
委員：上野 直人（M.D Anderson Cancer Center）
委員：大橋 靖雄（東京大学大学院医学系研究科）
委員：小嶋 修一（株式会社 TBS テレビ）
委員：滝口 裕一（千葉大学医学部附属病院）
委員：坪井 正博（神奈川県立がんセンター）
委員：藤原 恵一（埼玉医科大学）
委員：渡辺 古志郎（横浜市立横浜市民病院）
委員：Robert L. Coleman（M.D Anderson Cancer Center）
委員：有吉 寛（愛知県がんセンター愛知病院）
委員：梅田 恵（株式会社緩和ケアパートナーズ）
委員：勝俣 範之（国立がん研究センター中央病院）
委員：後藤 悌（東京大学医学部附属病院）
委員：円谷 彰（神奈川県立がんセンター）
委員：野村 久祥（杏林大学）
委員：向井 博文（国立がん研究センター東病院）

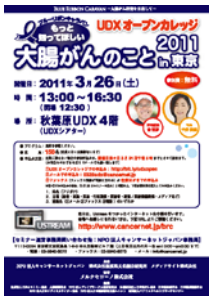
【CNJ の主要事業：Our core activities】

CNJ のミッションに基づき、ビジョンの実現に向けて、「知る」、「学ぶ」、「集う」をコンセプトに、主たる３事業を展開しています。このコンセプトは、科学的根拠に基づく正しい情報が重要である事を普及啓発し、これを実施する人材を養成し、更にそれらの人材が活躍でき、患者・家族・一般の方々が利用できる場を提供するというものです。上記３事業に加え、これらを加速させる活動、医療政策提言、他団体・企業との連携も積極的に行っています。

We have a deep commitment to three goals relating to cancer outreach. 1. Increasing awareness, 2. Seeking knowledge and 3. Sharing knowledge. Innovation is driven by “awareness.” Awareness leads to a demand for “knowledge.” The more new knowledge we find, the more we need a place where we can “share” that knowledge with others. In keeping with our patient-centered approach, CNJ firmly supports the efforts of those who want to know, learn, and work together to fight cancer. We believe that we can overcome any obstacles that may stand in our way as we work toward these goals. [Our passion is to make a difference in the lives of patients!]

【Awarness】「知る：科学的根拠に基づくがん医療情報の普及・啓発事業」

・CNJ がん医療セミナー（http://www.cancernet.jp/eve.html）



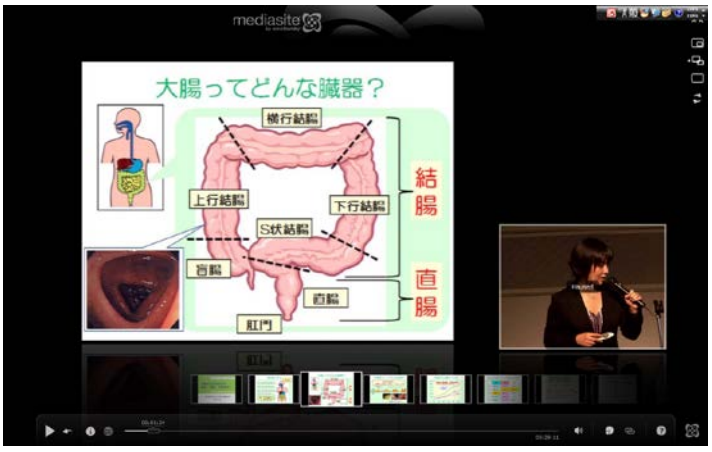
CNJ では、CNJ 主催、他団体との共催、学会等の委託を受け、がん種別テーマ別に、様々なイベント・セミナーを開催しています。
CNJ がん医療セミナーの基本コンセプトは、より多くの方々が最良のがん医療にたどり着くために、患者・家族・一般の方々だけでなく、医療者、関連企業、報道関係者等との情報・問題の共有が重要と考えており、どのような立場の方にもご参加頂ける公開（オープン）セミナーとしています。
従来の「もっと知ってほしい」シリーズはじめ、主催・共催あわせて年間 40 回以上のセミナーを企画・開催し、東京だけでなく、札幌、盛岡、仙台、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島でも開催することができました。
2008 年から取り組んできた、すい臓がん啓発の全国キャラバン「パープルリボン・キャラバン」に続き、昨年度より、大腸がん啓発の全国キャラバン「ブルーリボン・キャラバン」を、大腸がん啓発月間である３月よりスタートいたしました。昨年に引き続き、関連団体・学会の企画・運営受託の取り組みも展開しています。

CNJ 主催・共催・企画・運営セミナー

開催日程	都市	開催内容
2010/4/11	大阪	映画「希望のちから」で考えるがんの臨床試験のこと in 大阪
2010/4/11	大阪	もっと知ってほしい乳がんの転移・再発のこと in 大阪
2010/4/17	東京	映画「希望のちから」で考えるがんの臨床試験のこと in 東京
2010/4/17	東京	もっと知ってほしい乳がんの転移・再発のこと in 東京
2010/5/1	東京	がんと一緒に働こう～治療を続けながら働くコツ～
2010/5/9	東京	共催フォーラム　がん先端医療を速やかに患者さんに届けるには
2010/5/22	東京	もっと知ってほしい大腸がんのこと
2010/5/29	仙台	第 22 回日本肝胆膵学会・学術集会 市民公開講座パープルリボンキャラバン
2010/6/12	大阪	CNJ・かるてぼすと共催「もっと知ってほしいがん医療情報のこと」
2010/6/26	東京	サバイバーズ・トーク・イブニング・セミナー
2010/6/27	東京	特別講演会「もっと知ってほしい代替医療の科学的根拠のこと」
2010/7/4	神戸	がんと一緒に働こう in 神戸～治療を続けながら働くコツ～
2010/7/18	東京	CNJ 協力　Ubdobe チャリティイベント SOCiAL FUNK!

開催日程	都市	開催内容
2010/7/24	東京	もっと知ってほしい「大切にしたい会社・病院 etc…」のこと
2010/7/25	東京	もっと知ってほしい脳腫瘍のこと
2010/8/1	東京	女性限定！もっと知ってほしい婦人科がんのこと 2010 in 東京
2010/8/7	札幌	パープルリボンキャラバン in 札幌～すい臓がんに光をあてる
2010/8/28	大阪	女性限定！　もっと知ってほしい婦人科がんのこと 2010 in 大阪
2010/9/5	盛岡	がんと一緒に働こう in 盛岡～治療を続けながら働くコツ～
2010/9/11	京都	第 48 回日本癌治療学会学術集会・市民公開講座パープルリボンキャラバン
2010/9/25	横浜	ここまで進んだ「がん（特に肺がん）」の薬物療法
2010/10/31	京都	CNJ 協力 Ubdobe チャリティイベント SOCiAL FUNK! in 京都
2010/10/17	大阪	もっと知ってほしい大腸がんのこと 2010 in 大阪
2010/10/30	京都	第 48 回日本癌治療学会学術集会・市民公開講座
2010/10/30	京都	精巣腫瘍患者友の会　創設キックオフ・イベント
2010/11/6	東京	パープルリボンキャラバン in 東京～すい臓がんに光をあてる
2010/11/12.13	大阪	CNJ 製作協力 劇団漂流船大阪公演 沈まない夕陽
2010/11/14	東京	もっと知ってほしい乳がんのこと 2010 in 東京
2010/11/21	横浜	第 72 回日本臨床外科学会総会 特別企画
2010/11/27	広島	すい臓がんを理解するレクチャー・シリーズ in 広島
2010/11/28	名古屋	がんと一緒に働こう in 名古屋～治療を続けながら働くコツ
2010/11/28	東京	追加公演決定！ 劇団漂流船　沈まない夕陽 in 原宿
2010/12/5	東京	ラン・フォー・ホープ東京 2010
2010/12/23	大阪	もっと知ってほしい乳がんのこと 2010 in 大阪
2010/12/25	東京	キャンサー・サバイバーズ・イブニング
2011/1/15	東京	もっと知ってほしい「がんの臨床試験・治験」のこと 2011
2011/1/30	横浜	もっと知ってほしい「胃がん」のこと ＆ 映画「希望のちから」
2011/1/30	横浜	キッズ医療体験セミナー
2011/2/19	東京	もっと知ってほしい「子宮頸がん」のこと 2011
2011/3/26	東京	ブルーリボンキャラバン 2011 in 東京

・CNJ がん情報ビデオライブラリー（http://www.cancernet.jp/video/）



CNJ は、2008 年 11 月より、メディアサイト株式会社支援・協力のもと、全国どこからでも、インターネット環境下にあれば、「必要な情報を」、「必要な時に」、「必要なだけ」得る事ができる「CNJ がん情報ビデオライブラリー」を開設しました。

原則、首都圏開催の CNJ 主催・共催セミナーは、CNJ ホームページ上「がん情報ビデオライブラリー」にて、配信しています。2008 年秋に、メディアサイト株式会社の協力により CNJ ホームページ上に開設した「がん情報ビデオライブラリー」は、がん医療セミナーや専門医の講義を、「いつでも」、「どこでも」視聴でき、60,000 を超えるアクセスを頂きました。

今後は、情報を必要とするより多くの方々に届くよう、情報発信の方法を工夫しつつ、コンテンツを充実させ、正しいがん医療情報を届けることに貢献して参ります。

現在は、最新システムを導入し、より利用、視聴しやすくなっています。

【Learning】「学ぶ：科学的根拠に基づくがん医療情報を提供する人材養成事業」

2007 年 6 月 15 日に閣議決定された「がん対策基本計画」には、「*今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等（以下「関係者等」という。）が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」の実現を目指すこととする。*」と言及されています。すなわち、これまで行政、医療者主体で進められてきた「がん対策推進」に、がん患者を含めた国民他、様々な立場の団体・関係者が関与するよう求められています。

今後、がん患者・家族のニーズに応じた「がん医療対策」を進める上においても、また実際に、がん患者・家族が求め、提供されるべき医療情報・サービスを提供するためにも、医療者のみならず、「がん対策推進」に関る者が、「*各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報*」等についての知識を有する事は必要最低限の要件となると思われます。

このような背景より、NPO 法人キャンサーネットジャパンでは、「がん医療対策推進」に関る者（関わろうとする者）、またこれまでの活動背景より、自身の体験をもとに乳がん領域で関わりを持つ者（持とうとする者）を対象に、科学的根拠に基づいた良質で、信頼性の高いがん医療情報を理解し、またその時々の最新のがん医療情報にアクセスし、かつそれらの医療情報を患者の言葉に換える事のできる「認定がん情報ナビゲーター（CIN）」、「乳がん体験者コーディネーター（BEC）」の人材養成講座を開講しています。

「認定がん情報ナビゲーター（CIN）養成講座」は 2008 年株式会社日本医療事務センター（以下、NIC）との業務提携により、2009 年の 5 期講座からは、Web 上で受講できる e-learning 講座となり、昨年度実施した第 6 期では、80 名を超える、より幅広く、多くの方に受講いただき、がん医療に関与される方のスキルアップとして貢献することができました。

「認定乳がん体験者コーディネーター（BEC）養成講座」も、昨年度の 6 期からは、CIN 同様、Web 上で受講できる e-learning 講座としたことで、全国から 55 名の方に受講いただくことができ、CIN と BEC 合計で 70 名以上の認定者を輩出いたしました。

2011 年度は、NPO 法人日本臨床研究支援ユニットと、NIC との協業にて、新たな講座を開講する予定です。また、朝日新聞社の Web 版医療・健康情報発信媒体 apital（アピタル）との協業により、新企画「アピタル乳がん夜間学校」も 4 月からスタートしています。

・乳がん体験者コーディネーター養成講座（http://www.cancernet.jp/bec.html）

自分自身の「がん」の体験を活かし、社会に貢献したい人達がいます。また、わたしたちは、そのような人材が日本のがん医療を、社会を変える力があることを信じています。

日本女性罹患数第一位の乳がん。その予防・診断・治療の進歩は目覚しく、自身の体験だけでなく、患者の気持ちを理解しながらも、その時々の最良の情報を知ることが重要です。

この養成講座は、日本の乳がん領域を代表する現役医療者を始めとした講師陣によるプログラムです。

・がん情報ナビゲーター養成講座（http://www.cancernet.jp/cin.html）

今や、「がん」と診断された多くの患者の情報源は、インターネットと言われています。しかし、インターネットを利用したがん情報の収集は大きな危険性をはらんでいます。これは医療者にとっても同じです。この講座は、各領域を代表する医師を始めとした講師陣による講義に加え、いかに信頼性の高い情報にたどり着くかを学びます。

2009 年 7 月から開講された第 5 期からは、この講座の教育的意義を考慮し、より多くの方の受講を可能とするため、「オンデマンド・ウェブ・ラーニング・システム」を用いた、インターネット環境下であれば「日本を代表する講師陣」による、「いつでも」、「どこでも」を実現する養成講座として新たにスタートしました。

また、第 5 期からは、本養成講座のプログラムアドバイザーに西條 長宏先生（近畿大学医学部腫瘍内科 教授）を迎え、これまでになかった新しいコンテンツも含め、領域を代表する医療者による、がん医療に関わる職種・立場を問わず受講可能な類を見ない養成講座となりました。

【Sharing】「集う：科学的根拠に基づくがん医療情報を提供するがん情報ステーション他」

・がん情報ステーション（http://www.cancernet.jp/ganst.html）

CIN・BEC 養成講座修了者を中心に、科学的根拠に基づくがん患者・家族に必要な医療情報が提供できる場所「CNJ がん情報ステーション」を開設しました。

「CNJ がん情報ステーション」のコンテンツは、医療者の指導の下、BEC・CIN が「がん医療情報」に関する勉強会等を提供し、がん患者・家族にとって有益な情報を、インターネット、既存の有益な書籍・冊子などを通じ提供できる場所を目指しています。

・草の根がん啓発活動（http://www.cancernet.jp/kusanone.html）

地域の公共施設や、法人・団体等とタイアップし、一般の方に「がんを知ってもらう」ことを目的として、BEC（乳がん体験者コーディネーター）や、CIN（がん情報ナビゲーター）が中心に、講演会・勉強会等を行い、草の根的な普及啓発活動を行なっていました。2010 年度より、神奈川県との協同事業を開始しました。

【Collaborations】「連携：科学的根拠に基づくがん医療情報を提供する組織との連携」

2010 年度 CNJ では、がん患者団体・支援団体、がん医療関連学会、厚生労働省科研費班研究、がん関連 NPO などとの連携・協業イベント、プログラムの実施の他、様々な団体・組織・企業との連携事業を実施しました。

・劇団漂流船「沈まない夕陽」演劇への協力

幅広い層の一般の方々に、がんをより身近に考える機会を提供するための、エンターテイメントとがん啓発のコラボレーションに取り組みました。東京、大阪での公演は大変好評を博し、2011 年度も上演を計画しています。

・杉並区和田中学校における「命を考える授業」に協力

2011 年東京都杉並区和田中学校（校長：代田 昭久氏）との「よのなか科 NEXT」の授業において、奥様を乳がんで失くされた田原 総一郎氏、子宮頸がんの体験者：阿南 里恵さんと、「がんの告知」に関する授業に協力しました。３年生を皮切りに、２年生、１年生に対しても同様の授業を実施しました。

http://www.cancerchannel.jp/posts/2011-01-18/2007.html

・映像、SNS（Social Networking System）を用いたがん医療情報発信サイトの開設

CancerChannel（キャンサー・チャンネル）は、インターネット上で、科学的根拠に基づくがん医療情報を、主として SNS（twitter、facebook などのソーシャル・ネットワーキング・サービス）と映像で発信する新しいがん医療情報サイトで、βversion を 2011 年 1 月に開設しました。

がんに罹患した患者、家族は、自身に対する病気、治療についての情報をインターネットを利用し収集する事があたりまえになり、現在では、新聞、テレビなどのマスメディア、書籍、医療者などを超え、気軽に情報を探せるインターネットが情報源の第一位と言われています。

そのような現状にも関わらず、インターネット上におけるがん医療情報は、患者、家族にとって有害と思われる非標準療法を推奨するサイトも多く、更に Yahoo、Google などの検索エンジンを用いて上位表示されるサイト（同時に表示されるスポンサーリンクも含め）においてさえ、情報の信頼性が担保されたものではありません。

一方で、一般への認知や普及も十分ではないものの、科学的根拠に基づく情報を発信している団体・組織が運営する患者・家族にとって有益なサイトも多数あります。しかしながら、それぞれの組織・団体の SEO（サーチ・エンジン・オプティマイゼーション）対策を含むウェブ上での情報発信だけでは、例え有益な情報であってもインターネット上でのインパクトは大きいとは言えません。

このような背景より、インターネット上でがん医療情報を発信する倫理的評価基準※(1)、及びがん治療専門家による科学的評価基準※(2)の 2 つの基準を満たした組織・団体が連携し、科学的根拠に基づく、正確で、安全ながん医療情報の発信する事により、インターネット上におけるがん医療情報を最適化する事を目的に CancerChannel（キャンサー・チャンネル）を開設しました。

http://www.cancerchannel.jp/

倫理的評価基準※(1)：東京大学医療政策人材養成講座 4 期後藤班、及びマイクロソフト NPO 協働プログラム 2009 助成プログラムによる倫理的評価基準を利用します。
医学的評価基準※(2)：複数のがん治療専門医による外部委員により評価します。
CancerChannel（キャンサー・チャンネル）アライアンス・メンバーへの申込みを頂いた場合でも、上記評価により、アライアンス・メンバーにご参加頂けないこともありますことご了承の程お願い申し上げます。

・あらゆる情報配信に対応するスタジオを開設（CNJ Studio 205）

J-CRSU：NPO 法人日本臨床試験支援ユニット（理事長：大橋 靖雄）との協業により、あらゆる映像の収録・編集・ライブ配信に対応するスタジオ：CNJ Studio 205 を開設しました。前述の映像配信を主とする「CancerChannel（キャンサー・チャンネル）等で配信される多くの映像はここで収録されるようになりました。

これにより、あらゆる形式の映像配信（E-Learning System：mediasite、映像ライブ配信 ASP：USTREAM、投稿型映像 ASP：YouTube など）、また、これらは、twitter、FACEBOOK 等の SNS（Social Networking System）で、広く提供できるよう対応しています。

・映画「希望のちから」で臨床試験・治験を考えるセミナーを開催

乳がんの分子標的薬の開発に取り組む医師と臨床試験に参加する患者・家族を取り上げた映画「希望のちから」上映と、トークを通して、がんの臨床試験・治験について理解を深める企画に取り組みました。「希望のちから」DVD 販売の売上金の一部を、臨床研究支援に充てる呼びかけに対し、300 本以上のご協力をいただきました。今後も同企画に取り組み、ウェブ上で随時、報告させて頂きます。

【Our Supporters】「サポーター団体・企業」

NPO 法人の活動は、その法人のミッションとビジョンに賛同を頂いた企業様/団体様、個人様の寄付、及び事業収益により行なわれています。以下のリストは、NPO 法人キャンサーネットジャパンにご寄付頂いている企業様/団体様一覧です。 また、スペシャルサポーターとは、非金銭的援助を頂いている企業様/団体様です。これらの企業様/団体様に感謝申し上げます。

プラチナスポンサー様

メルクセローノ株式会社

Merck Serono
Living science, transforming lives

メルクセローノ株式会社は、長い歴史によって培われた経験と革新的な技術、また、新しく生まれた企業としての躍動感を最大限に発揮しながら、医療に携わる方々のサポートとなり、患者のみなさんに世界の先進的な治療薬を速やかにお届けすることを目指している製薬企業です。

感謝状授与式での、癌領域事業部 部長 塚田 アンドレアス様(右)と、柳澤(左)の記念写真です。

(写真をクリックすると拡大します)
⇒ウェブサイト

ゴールドスポンサー様

日本イーライリリー株式会社

Lilly

⇒ウェブサイト

シルバースポンサー様

グラクソ・スミスクライン株式会社

gsk GlaxoSmithKline

⇒ウェブサイト

ブリストル・マイヤーズ株式会社

Bristol-Myers Squibb
ブリストル・マイヤーズ株式会社

⇒ウェブサイト

日本BD(日本ベクトン・ディッキンソン株式会社)

BD

⇒ウェブサイト

MSD株式会社

MSD

⇒ウェブサイト

ブロンズスポンサー様

中外製薬株式会社

中外製薬
ロシュ グループ

⇒ウェブサイト

ヤクルト株式会社

人も地球も健康に
Yakult

⇒ウェブサイト

大鵬薬品工業株式会社

TAIHO 大鵬薬品

⇒ウェブサイト

エーザイ株式会社

Eisai エーザイ株式会社

⇒ウェブサイト

スペシャルサポーターズ

日本マイクロソフト株式会社

Microsoft

⇒ウェブサイト

メディアサイト株式会社

mediasite

⇒ウェブサイト

株式会社日本医療事務センター

日本医療事務センター

⇒ウェブサイト

サポーターズ

- 塩野義製薬株式会社
- コヴィディエンジャパン株式会社
- バイエル薬品株式会社
- シェリングプラウ株式会社(MSD株式会社)
- ファイザー株式会社
- 武田薬品工業株式会社
- エスティローダー株式会社
- 日本医療事務センター
- 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
- アフラック(アメリカン ファミリー ライフ アシュアランス カンパニー オブ コロンバス日本支社)
- サノフィ・アベンティス株式会社
- 日本化薬株式会社
- 興和テバ株式会社
- 旭化成ファーマ株式会社

法人名： 特定非営利活動法人 キャンサーネットジャパン

貸借対照表

平成23 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,304,674		
未収金	1,377,263		
たな卸資産	718,543		
前払金	53,582		
仮払金	20,000		
流動資産合計		21,474,062	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	180,431		
建物付属設備	479,719		
有形固定資産計	660,150		
(2)その他の固定資産			
敷金	1,264,600		
ソフトウエア	284,192		
その他の固定資産計	1,548,792		
固定資産合計		2,208,942	
資産合計			23,683,004
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	750,030		
未払消費税等	932,300		
預り金	306,446		
流動負債合計		1,988,776	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,988,776
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,326,231	
当期正味財産増減額		12,367,997	
正味財産合計			21,694,228
負債及び正味財産合計			23,683,004

法人名： 特定非営利活動法人 キャンサーネットジャパン

活動計算書(注)

平成22 年 4 月 1 日 ～ 平成23 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費		470,000	
2. 受取寄付金		44,771,396	
3. 受取助成金等		6,265,134	
4. 事業収益		39,016,759	
5. その他収益			
受取利息	2,027		
雑収入	20,967	22,994	
経常収益計			90,546,283
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	20,317,926		
臨時雇賃金	126,309		
法定福利費	2,118,124		
福利厚生費	1,731,432		
人件費計	24,293,791		
(2)その他経費			
仕入高	425,819		
業務委託費	9,521,438		
諸謝金	5,496,285		
印刷製本費	4,751,383		
会議費	770,734		
旅費交通費	3,904,136		
通信運搬費	4,735,911		
消耗品費	825,029		
修繕費	18,198		
水道光熱費	479,925		
地代家賃	4,574,292		
減価償却費	695,466		
保険料	5,970		
諸会費	87,118		
租税公課	1,445,970		
研修費	102,605		
支払手数料	141,429		
会場費	5,469,645		
広告宣伝費	165,000		
交際費	71,651		
消耗什器備品費	867,960		
支払助成金	297,774		
雑費	196,228		
その他経費計	45,049,966		
事業費計		69,343,757	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	3,734,233		
法定福利費	494,433		
福利厚生費	319,226		
人件費計	4,547,892		
(2)その他経費			
会議費	344,326		
旅費交通費	150,393		
通信運搬費	752,470		
消耗品費	347,643		
修繕費	8,567		
水道光熱費	65,912		
地代家賃	394,091		
減価償却費	149,183		
諸会費	12,697		
支払手数料	1,526,227		
交際費	113,538		
研修費	1,442		
消耗什器備品費	58,201		
雑費	361,947		
その他経費計	4,286,637		
管理費計		8,834,529	
経常費用計			78,178,286
当期正味財産増減額			12,367,997
前期繰越正味財産額			9,326,231
次期繰越正味財産額			21,694,228

(注)特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

～ 各種アライアンス・メンバーを募集しています ～
http://www.cancerchannel.jp/alliance/confirm-alliance-member

私たち NPO 法人キャンサーネットジャパンの活動は、私たちの mission・vision、活動に賛同頂ける個人様・団体様・企業様のご寄付によって運営されています。

NPO 法人キャンサーネットジャパンの活動・事業に、ご理解、ご賛同頂けましたら、是非広く皆様のご寄付を賜りたく、ここに謹んでお願い申上げます。特に、営利企業では取組み難い希少がん・難治性がんやテーマに関する情報発信への活動に充てたいと存じます。

また同時に、私たちの活動をご支援頂ける個人様・団体様の会員も募集しております。私たちの活動にご関心のある個人様・団体様のご入会も併せてお願い申し上げます。

ご寄付の申込み：http://www.cancernet.jp/donation.php　ご入会の申込み：http://www.cancernet.jp/joinus.php

http://www.cancernet.jp/